

公益財団法人埼玉県住宅センター

2020年度 事業報告

2020年4月1日から2021年3月31日まで

【公益目的事業】

1. 住生活向上事業

(1) 建設業従事者の技術向上のための講習会開催について

①増改築相談員研修会について

住宅建築市場では良質な住宅ストックをつくり、長く活用していくということが時代の要請となっています。そこで、建設業従事者の知識・技術の向上を図り、住宅をリフォームすることを考えている県民からの相談に誠実に対応し、必要に応じて積極的に助言などを行い、住宅の品質を高めるとともに、県民の利益の保護及び増進を図ることを目的として公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センターが認定する「増改築相談員」資格の取得を促進し、増改築相談員研修会を実施しました。

新規研修会を11月13日（金）に開催し、5人が登録しました。また、更新研修会を10月28日（水）・10月29日（木）に実施し、受講者は32人でした。

②事業所向け学習会について

新築住宅・リフォームを問わず、建設従事者と顧客との間のコミュニケーション不足が原因でトラブルになり、住宅の満足度が低下してしまう事例が増えています。そこで、「顧客の抱える不安や不備」「顧客の利便性は高まるか」といった「顧客視点」からの提案がしっかりとできるよう建設業従事者のレベルアップを図ることで、住宅関係のトラブルを減らし、県民への良質な住宅の提供を促進する目的で、事業所向け学習会を開催しました。

営業や提案については、多くの建設業従事者が苦手と感じていることから、8月30日（日）に参加者6人、10月4日（日）に参加者7人で午前は「お客様や取引先に良い印象を作る」、「ビジネスメールの書き方」、午後は「顧客との契約にまつわるトラブル事例を基に対処法の解説」等について、グループワークを織り交ぜて学習しました。

尚、開催にあたりましては、建設関係の資格試験学習等を広く取り扱う日建学院に学習会開催業務全般を委託して実施しました。

③新入社員研修会について

建設事業所等入社3年未満の新入社員向けに「新入社員研修会」と題し社会人としての「心構え」や「接客マナー」や「職場でのマナー」及び「ビジ

ネスマナー」など基礎的な知識を学べる講習会を6月4日（木）に参加者11人で開催しました。

尚、開催にあたりましては、建設関係の資格試験学習等を広く取り扱う日建学院に学習会開催業務全般を委託して実施しました。

（2）ホルムアルデヒド濃度測定について

県民のシックハウスに対する意識の向上を図るとともに、安全・安心な住宅が提供されることを目的として、ホルムアルデヒドや人体に有害とされる揮発性有機化合物 VOC（トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、スチレン、エチルベンゼン）の濃度測定事業を実施しました。住宅10件の測定を行いました。

（3）道具資料館について

道具資料館にて、建設関係各職種の方々が受け継いできた、次第に消えゆく古い時代の伝統技能・技術・道具や資料などを収集・保存し、木造建築文化の伝承・発展と県民への普及・啓発のため、研究・展示を行いました。現在、1,039点の道具・資料等が保存されています。

（4）住宅デー事業について

木造軸組工法に携わる建設技術者が地域住民に対して無料住宅相談や木工工作広場等を実施し、木造軸組工法による優良な住宅の普及・促進および維持・管理の重要性についての認識を広めることを目的として住宅デー事業を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染予防の観点から、本年度は中止としました。

（5）無料職業紹介について

地域の建設事業者と建設従事者のミスマッチを解消し、建設事業者の発展を図るとともに建設従事者の生活を支援するため、建設業に関する無料職業紹介を実施しました。なお、事業者登録、求人登録、求職者登録はありませんでした。

（6）住宅相談について

県民からの住宅に関する諸問題の相談や、県内中小住宅従事者からの住宅に関する相談3件に対応しました。また、埼玉県既存建築物地震対策協議会、埼玉県職業能力開発協会、一般社団法人すまいづくりまちづくりセンター連合会に参加しました。

【収益目的事業】

1. 住宅瑕疵担保責任保険事業

(1) 住宅瑕疵担保保険について

住宅瑕疵担保履行法に県内の中小住宅建築従事者が適切に対応するため、建設埼玉、全建総連、住宅保証機構（株）（以下、機構）と連携し、機構が運用する法律に対応した住宅瑕疵担保責任保険「まもりすまい保険」が保険料割引で適用される全建総連が推進する高耐久・高品質な木造住宅「ゆうゆう住宅」の利用促進を図りました。

「ゆうゆう住宅」の事務取扱および第1回現場検査（基礎配筋工事完了時）を実施し、保険契約申込31件の対応をしました。

附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。

住宅センター会計

(単位： 円)

科 目	コード	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部				
1. 流動資産				
普通預金	104000	1,458,620	2,046,632	△588,012
未収金	109000		44,000	△44,000
貯蔵品	115000	1,015	1,015	0
流動資産合計		1,459,635	2,091,647	△632,012
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
(2) 特定資産				
(3) その他の固定資産				
事務用器具	255000	81,144	94,185	△13,041
事業用器具	256000	1	1	0
展示品	257000	1,039	1,039	0
定期預金	105000	3,000,000	3,000,000	0
その他の固定資産合計		3,082,184	3,095,225	△13,041
固定資産合計		3,082,184	3,095,225	△13,041
資産合計		4,541,819	5,186,872	△645,053
II 負債の部				
1. 流動負債				
前受金	303000		1,650	△1,650
預り金	304000	3,540	5,310	△1,770
流動負債合計		3,540	6,960	△3,420
負債合計		3,540	6,960	△3,420
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
2. 一般正味財産		4,538,279	5,179,912	△641,633
(うち基本財産への充当額)	()	()	()	()
(うち特定資産への充当額)	()	()	()	()
正味財産合計		4,538,279	5,179,912	△641,633
負債・正味財産合計		4,541,819	5,186,872	△645,053

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月31日 *

住宅センター会計

(単位： 円)

科 目	コード	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益		1,470,700	1,369,560	101,140
住生活向上事業収益	415000	1,021,900	931,760	90,140
ホムテックビル測定事業収益	415200		44,000	△44,000
住宅瑕疵担保保険事業収益	415700	448,800	393,800	55,000
受取補助金等		660,000	660,000	0
受取補助金	421000	660,000	660,000	0
受取寄付金		7,800,000	7,600,000	200,000
受取寄付金	443000	7,800,000	7,600,000	200,000
雑収益		12	618	△606
雑収益	451000	12	618	△606
経常収益計		9,930,712	9,630,178	300,534
(2) 経常費用				
事業費		9,608,152	9,035,488	572,664
給料手当	501000	5,852,396	5,766,312	86,084
法定福利費	504000	922,900	935,160	△12,260
旅費交通費	505000	169,194	127,871	41,323
通信運搬費	506000	233,531	199,981	33,550
減価償却費	507000		1	△1
外注費	514500	2,054,257	1,692,800	361,457
消耗品費	509000	50,871	36,632	14,239
広告宣伝費	516000	188,515	133,365	55,150
諸会費	521100	87,000	87,000	0
支払手数料	518000	45,738	42,966	2,772
雑費	522000	3,750	13,400	△9,650
管理費		964,193	947,689	16,504
役員報酬	524000	120,000	140,000	△20,000
給料手当	525000	650,267	640,701	9,566
法定福利費	526000	102,545	103,907	△1,362
旅費交通費	529000	18,800	14,208	4,592
支払手数料	542000	1,540	2,632	△1,092
減価償却費	531000	13,041	13,041	0
雑費	546000	25,000	33,200	△8,200
外注費	538500	33,000		33,000
経常費用計		10,572,345	9,983,177	589,168
当期経常増減額		△641,633	△352,999	△288,634
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
(2) 経常外費用				
当期一般正味財産増減額		△641,633	△352,999	△288,634
一般正味財産期首残高		5,179,912	5,532,911	△352,999
一般正味財産期末残高		4,538,279	5,179,912	△641,633
II 指定正味財産増減の部				
III 正味財産期末残高		4,538,279	5,179,912	△641,633